

(2) 様式 3(又は 5) 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画実施状況報告書について

本様式は、前年度（令和4年度）の廃棄物の種類ごとの排出量及び処理方法の内訳の実績数値を報告していただくものです。前年度に「処理計画」を提出した事業者の方は必ず作成し、成果の確認にお役立てください。

様式は、「第1面（様式 3）」「別紙一括表（様式 3-1）」「第2面 別紙処理フロー（廃棄物の種類ごとに作成）（様式 3-2）」の3種類があります。作成手順としては、別紙処理フロー ⇒ 第1面 ⇒ 別紙一括表（確認）となります。

〈例〉様式 3-2（P.28）⇒ 様式 3（P.27）⇒ 様式 3-1（P.29）

記載例

実績にかかわらず、前年度に提出した様式2の区分と合わせてください。

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
	○	

様式第二号の九(第八条の四の六関係) (第1面)

様式1を入力し、「データ反映・印刷ツール」を使用すると、緑色のセルに情報が反映されます。(P.10参照)

「6月30日」「6/30」等を入力すると、和暦で表示されます。

令和5年6月〇〇日

神奈川県知事 殿

提出者 住所 氏名

東京都千代田区〇〇町〇-〇

〇〇〇〇株式会社  
代表取締役 〇〇 〇〇  
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

代表者印及び社印等は押印しないでください。

処理計画の作成単位である事業場を管理している代表者等とすることができます。建設業の場合は、処理計画の作成単位である支店等の代表者等とすることができます。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

初めて提出する場合は「新規」としてください。

事業場の名称 〇〇〇〇株式会社 〇〇工場 自主管理番号 〇〇〇〇

事業場の所在地 〇〇市〇〇町〇-〇 TEL(連絡先): 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	E16-化学工業 (具体的には)	162 無機化学工業製品製造業
② 事業の規模	製造業	製造品出荷額 5,500 百万円/年
	建設業	エリア内元請完成工事高 百万円/年
	医療機関	病床数 床
	業種	売上高

製造業の場合には製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合には元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合には病床数(前年度末時点)、その他の業種の場合には売上高(前年度実績)を記入してください。

処理計画の作成単位となった事業場(建設業の場合は、処理計画を策定した支店等)の従業員数を記載してください。

日本標準産業分類の中分類又は小分類を記載してください(分類番号、分類項目等)。判断がつかない場合は、総務省のWebサイトをご覧ください。所管の県又は政令市までお問合せください。

③ 従業員数 250名

産業廃棄物処理計画における計画期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年間)

産業廃棄物処理計画における目標値

前年度に提出した「処理計画(様式2)」の目標値を、産業廃棄物の種類ごとに「別紙処理フロー(左下)」へ記載してください。表紙(第1面)には合計値が表示されます。※セル「薄橙色」は自動計算されます。

項目	目標値	目標値
排出量	34,205.0 t	全処理委託量 4,205.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量 1,140.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用者への処理委託量 3,167.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	30,000.0 t	認定熱回収業者への処理委託量 50.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 35.0 t

※ 事務処理欄

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

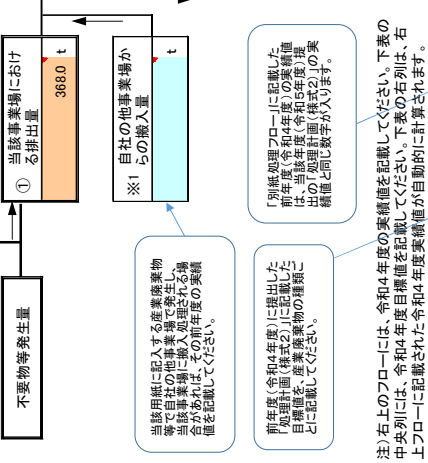
令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

【セル色の説明】 薄青色：内容・データ等を入力してください  
薄緑色：自動処理されるので、変更できません。

産業廃棄物の種類  
工 廃酸

令和4年度に発生した産業廃棄物の種類ごとの量の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

（単位：t/年）

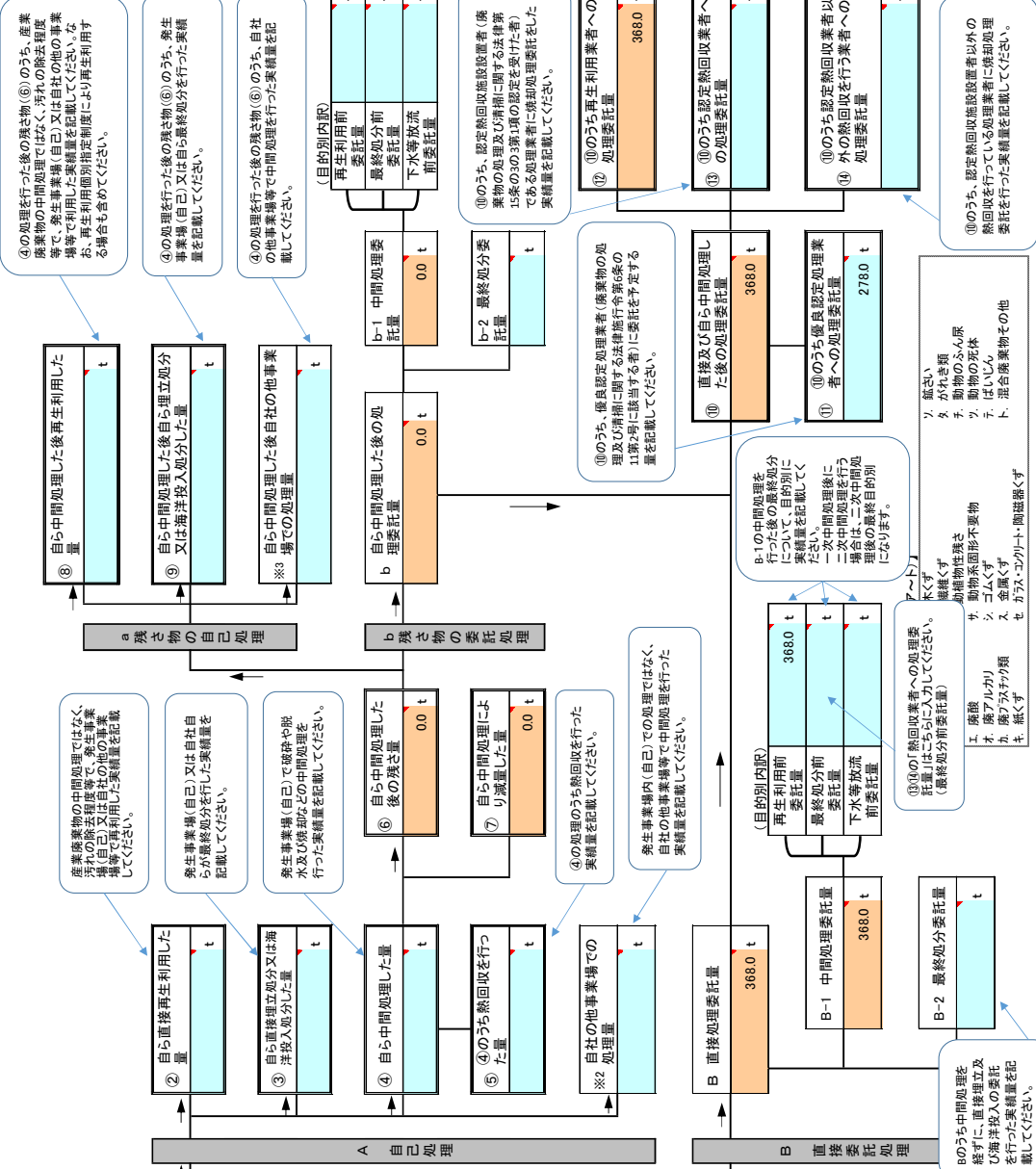


項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	4370 t	3680 t
②+⑧ 自らの再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自らの熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自らの中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+④ 自ら立立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	4370 t	3680 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	2450 t	2780 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	4370 t	3680 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行った処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

注：右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

3-2	法定	自主
	○	

事業場名称：○○○○株式会社 ○○工場



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

※このページは、中間処理のページですので、一切入力できません。入力は各産業物のフローシート(ア)から(エ)までの産業物の他にしてください。

別紙一括表

事業場名称: ○○○○株式会社 ○○工場		3-1										法定	自主									
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	合計	
		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性廃棄物	動物性脂肪	金属くず	ガラス、陶磁器、窯業廃棄物	繊維さい	がれき類	動物の死体	ばいじん	混合廃棄物の価値		(単位:トン)	
①	排出量	450	33,000.0	220.0	437.0	278.0						191.0	27.0					7.0			34,205.0	
②+⑧	自ら再生利用を行う量																					
⑤	自ら熱回収を行う量		30,000.0																			30,000.0
⑦	自ら中間処理により減量する量																					
③+④	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量																					
⑩	全処理委託量	450	3,000.0	220.0	437.0	278.0						191.0	27.0					7.0			4,205.0	
⑪	優良認定処理業者への処理委託量	200	600.0	80.0	245.0	179.0						10.0	6.0									1,140.0
⑫	再生利用業者への処理委託量	450	2,000.0	220.0	437.0	240.0						191.0	27.0					7.0				3,167.0
⑬	認定熱回収業者への処理委託量		40.0			10.0																50.0
⑭	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		30.0			5.0																35.0
①	当該事業場における排出量	400	31,200.0	200.0	368.0	346.0						182.0	25.0					7.4				32,368.4
※1	自社の他事業場からの搬入量																					
②	自ら直接再生利用した量																					
③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量																					
④	自ら中間処理した量		30,000.0																			30,000.0
⑤	④のうち熱回収を行った量																					
※2	自社の他事業場での処理量																					
⑥	自ら中間処理した後の残存量		1,300.0																			1,300.0
⑦	自ら中間処理により減量した量		28,700.0																			28,700.0
A	自己処理の量																					
⑧	自ら中間処理した後再生利用した量																					
⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量																					
⑩	自ら中間処理した後の処理量																					
※3	自らの他事業場での処理量																					
b	自ら中間処理した後の処理委託量		1,300.0																			1,300.0
b-1	中間処理委託量		1,300.0																			1,300.0
	再生利用前委託量																					
	最終処分前委託量																					
	下水等放流前委託量																					
b-2	最終処分委託量																					
B	直接処理委託量	400	1,200.0	200.0	368.0	346.0						182.0	25.0					7.4				2,368.4
B-1	中間処理委託量	400	1,200.0	200.0	368.0	346.0						182.0	25.0					7.4				2,368.4
	再生利用前委託量	400	1,000.0	200.0	368.0	230.0						182.0	25.0					7.4				2,052.4
	最終処分前委託量		200.0			116.0																316.0
	下水等放流前委託量																					
B-2	最終処分委託量																					
⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	400	2,500.0	200.0	368.0	346.0						182.0	25.0					7.4				3,668.4
⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	300	400.0	78.0	278.0	100.0						12.0	6.0					7.4				904.0
⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	400	2,300.0	200.0	368.0	230.0						182.0	25.0					7.4				3,352.4
⑬	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量		100.0			30.0																130.0
⑭	⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		20.0			10.0																30.0

※3に該当しないか確認してください。「処理計画(様式2)」を提出する場合、「処理計画」に記載した実績と同じであることを確認してください。

※この一括表には、産業廃棄物の種類ごとの処理フローに入力した量が表示されます。

(第3面)

備考	<p>1 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。</p> <p>2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。</p> <p>(1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。</p> <p>(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。</p> <p>3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、前年度(令和4年度)提出の産業廃棄物処理計画に記載した目標量を記入してください。</p> <p>4 第2面(様式3-2)には、前年度(令和4年度)の産業廃棄物処理実績に関して①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入してください。</p> <p>(1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量</p> <p>(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量</p> <p>(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量又は海洋投入処分した量</p> <p>(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量</p> <p>(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量</p> <p>(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量</p> <p>(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量</p> <p>(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量</p> <p>(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量</p> <p>(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量</p> <p>(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量</p> <p>(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量</p> <p>(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量</p> <p>(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量</p> <p>5 第2面(様式3-2)の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入してください。</p> <p>6 第1面の※欄には、何も記入しないでください。</p>
----	---

記載例

実績にかかわらず、前年度に提出した様式4の区分と合わせてください。

5	法定	自主
	○	

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

様式1を入力し、「データ反映・印刷ツール」を使用すると、緑色のセルに情報が反映されます。(P.10参照)

「6月30日」「6/30」等を入力すると、和暦で表示されます。

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月〇〇日

神奈川県知事 殿

- ・神奈川県知事
  - ・横浜市長
  - ・川崎市長
  - ・相模原市長
  - ・横須賀市長
- から提出先を選んでください。

提出者

処理計画の作成単位である事業場を管理している代表者等とすることができます。建設業の場合は、処理計画の作成単位である支店等の代表者等とすることができます。

住所  
氏名

東京都千代田区〇〇町〇-〇  
〇〇〇〇株式会社  
代表取締役 〇〇 〇〇  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

代表者印及び社印等は押印しないでください。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和4年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

初めて提出する場合は「新規」としてください。

事業場の名称	〇〇〇〇株式会社 〇〇工場	自主管理番号	〇〇〇〇
事業場の所在地	〇〇市〇〇町〇-〇	TEL(連絡先):	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	E16-化学工業 (具体的には)	162 無機化学工業製品製造業
② 事業の規模	製造業	製造品出荷額 5,500 百万円/年
	建設業	エリア内元請完成工事高 百万円/年
	病床数	床
	売上高	
③ 従業員数	250名	

製造業の場合には製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合には元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合には病床数(前年度末時点)、その他の業種の場合には売上高(前年度実績)を記入してください。

処理計画の作成単位となった事業場(建設業の場合は、処理計画を策定した支店等)の従業員数を記載してください。

日本標準産業分類の中分類又は小分類を記載してください(分類番号、分類項目等)。判断がつかない場合は、総務省のWebサイトをご覧ください。所管の県又は政令市までお問合せください。

産業廃棄物処理計画における計画期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年間)

項目	目標値	目標値
排出量	526.00 t	全処理委託量 275.00 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量 220.00 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	220.00 t	再生利用業者への処理委託量 275.00 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量 0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

前年度に提出した「処理計画(様式4)」の目標値を、特別管理産業廃棄物の種類ごとに「別紙処理フロー(左下)」へ記載してください。表紙(第1面)には合計値が表示されます。※セル「薄橙色」は自動計算されます。

前々年度の特別管理産業廃棄物の全排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)を記載してください。

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度(令和3年度)	1,941.60 t
	前年度(令和4年度)	532.00 t

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)

既に電子マニフェストを導入している。	前年度の特別管理産業廃棄物の全排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)が50トン以上の場合、電子マニフェストの使用に関する取組について、記載してください。	前年度の実績値を、特別管理産業廃棄物の種類ごとに「別紙処理フロー」へ記載してください。表紙(第1面)には合計値が表示されます。※セル「薄橙色」は自動計算されます。
--------------------	--	---

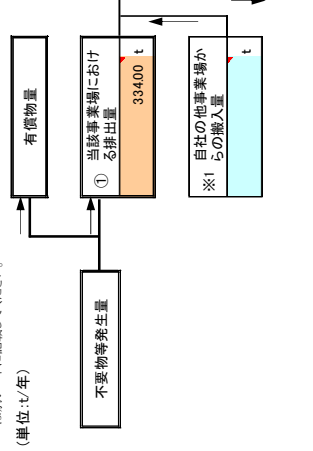
※ 事務処理欄

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した特別管理産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

7. 特管廃油  
 フローに転載した特別管理産業廃棄物の種類  
 ※ 本用紙は産廃物の種類ごとに枚の記載となります。異なる産廃物の処理フローは別シートに記載してください。

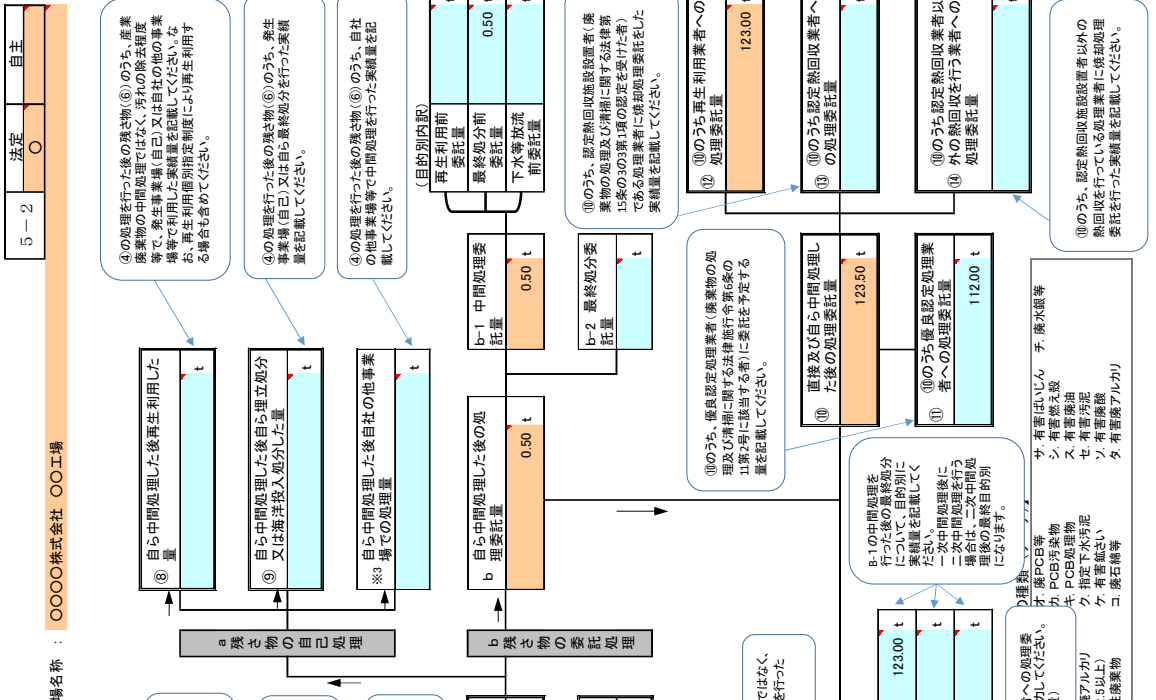


「別紙処理フロー」に記載した前年度(令和4年度)に排出した(処理計画(様式4))に記録した(特別管理産業廃棄物の種類ごとに記録してください)。

注) 右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	356.00 t	334.00 t
②+⑧ 自再生利用を行った量	0.00 t	0.00 t
⑤ 自熱回収を行った量	0.00 t	0.00 t
⑦ 自中間処理により減量した量	220.00 t	210.50 t
③+⑨ 自埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t	0.00 t
⑩ 全処理委託量	105.00 t	123.50 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	90.00 t	112.00 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	105.00 t	123.00 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t

【セル色の説明】  
 薄水色: 内容・データ等を入力してください  
 薄橙色: 自動処理されるので、変更できません。



特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

※このページは、印刷前のページですので、一切入力できません。入力は名産廃棄物のフローシート「ア管理廃油～手洗水取等」にしてください。

別紙一様表	事業場名称：〇〇〇〇株式会社 〇〇工場										5-1		法定	自主				
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ト
	特管廃油	特管廃酸 (pH2以下)	特管廃液 (pH2以上)	感染性 産業物	廃PCB等	PCB汚染物	PCB処理物	指定下水 汚泥	有害鉛さい	廃石棉等	有害ばいじん	有害燃え殻	有害廃油	有害汚泥	有害廃酸	有害 廃アルカリ	廃水銀等	合計
① 排出量	356.00	170.00																528.00
②+⑧ 自ら再生利用を行う量																		0
⑤ 自ら熱回収を行う量																		0
4 ⑦ 自ら中間処理により減量する量	220.00																	220.00
年 ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量																		0
度 ⑩ 全処理委託量	105.00	170.00																275.00
目 ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	90.00	130.00																220.00
標 ⑫ 再生利用者への処理委託量	105.00	170.00																275.00
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量																		0
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																		0
① 当該事業場における排出量	356.00	170.00																528.00
※1 自社の他事業場からの搬入量																		
② 自ら直接再生利用した量																		
③ 自ら間接埋立処分した量																		
④ 自ら中間処理した量	211.00																	211.00
⑤ ④のうち熱回収を行った量																		
※2 自社の他事業場での処理量																		
⑥ 自ら中間処理した後の残存量	0.50																	0.50
7 ⑦ 自ら中間処理により減量した量	210.50																	210.50
自己処理 の 量																		
⑧ 自ら中間処理した後の再生利用した量																		
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分 した 量																		
⑩ 自ら中間処理した後の自社の他事業場での処理量																		
令 ⑪ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.50																	0.50
和 ⑫ 再生利用前委託量	0.50																	0.50
4 ⑬ 最終処分前委託量	0.50																	0.50
年 ⑭ 下水等放流前委託量																		
度 ⑮ 最終処分委託量																		
実 ⑯ 直接処理委託量	123.00	198.00																321.00
績 ⑰ B-1 中間処理委託量	123.00	198.00																321.00
⑱ 再生利用前委託量	123.00	198.00																321.00
⑲ 最終処分前委託量																		
⑳ 下水等放流前委託量																		
B-2 最終処分委託量																		
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	123.50	198.00																321.50
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	112.00	178.00																290.00
⑫ ⑩のうち再生利用者への処理委託量	123.00	198.00																321.00
⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量																		
⑭ ⑩のうち認定期間回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																		

実績に誤りがないか確認してください。  
「処理計画(様式4)」を提出する場合、「処理計画」に記載した  
実績と同じであることを確認してください。

※この一様表には、特別管理産業廃棄物の種類ごとの処理フローに入力した量が記載されます。



(第3面)

備考	<p>1 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。</p> <p>2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。</p> <p>(1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。</p> <p>(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。</p> <p>3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、前年度(令和4年度)提出の特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標量を記入してください。</p> <p>4 第2面(様式5-2)には、前年度(令和4年度)の特別管理産業廃棄物処理実績に関して①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入してください。</p> <p>(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量</p> <p>(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量</p> <p>(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量</p> <p>(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量</p> <p>(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量</p> <p>(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量</p> <p>(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量</p> <p>(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量</p> <p>(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量</p> <p>(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量</p> <p>(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量</p> <p>(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量</p> <p>(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量</p> <p>(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量</p> <p>5 第2面(様式5-2)の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入してください。</p> <p>6 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄は、前々年度(令和3年度)及び前年度(令和4年度)における特別管理産業廃棄物の排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハマまでに掲げるものをいう。)を除く。)並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度(令和4年度)に実施した電子情報処理組織に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律成功規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。</p> <p>7 第1面の※欄には、何も記入しないでください。</p>
----	---



## ○記載内容の留意事項

## 様式 3 (又は 5) 「第1面」

## 【提出者】

事業場を管理している代表者等とは、工場長、工場管理者等です。  
 建設業の場合、支店等の代表者等とは、支店長などです。  
 代表者印、社印等の押印はしないでください。

## 【「処理計画」における目標値】

前年度（令和4年度）に提出した「処理計画（様式 2（又は 4））」に記載したそれぞれの項目の目標値（全ての廃棄物の目標値を合計した数値）を記載してください。

具体的には、前年度（令和4年度）に提出した「処理計画」に添付している別紙一括表（様式 2-1（又は 4-1））を参照し、それぞれの項目の合計欄の数値を記載してください。

## 【電子情報処理組織の使用に関する事項】（様式 5 のみ）

## （1）電子情報処理組織の使用に関して実施した取組

ここでの記載内容例としては次のようなものがあります。

- ・電子マニフェスト導入済み【〇〇年〇〇月】
- ・電子マニフェストを使用している処理業者（収集運搬）との委託契約済み
- ・電子マニフェストを使用している処理業者（処分）との委託契約済み

なお、電子マニフェスト使用義務者でない場合は、義務者に該当しない旨を記載してください。

## 様式 3-1 (又は 5-1) 「別紙一括表」

この様式は、次の様式 3-2（又は 5-2）「別紙処理フロー」で記載した項目をとりまとめた表となっています。（自動表示）

様式 2（又は 4）を提出する場合は、様式 2-1（又は 4-1）「別紙一括表」に表示された前年度（令和4年度）の実績に数値のずれがないことを確認してください。

## 様式 3-2 (又は 5-2) 「別紙処理フロー」

この様式は左下の表を除き様式 2-2（又は 4-2）と同じですが、様式 2-2（又は 4-2）の記載内容は当該年度（令和5年度）の目標値であるのに対して、この様式では前年度（令和4年度）の実績値を記載するものとなっています。記載にあたっては、様式 2-2（又は 4-2）の該当箇所（P. 43 又は P. 51）を参照するほか、次のとおりです。

**I 令和4年度目標値**

前年度（令和4年度）に提出した「処理計画」に記載したそれぞれの項目の目標値を記載してください。

具体的には、前年度（令和4年度）に提出した「処理計画」に添付している別紙処理フロー（様式 2-2（又は 4-2））を参照し、それぞれの項目の数値を記載してください。